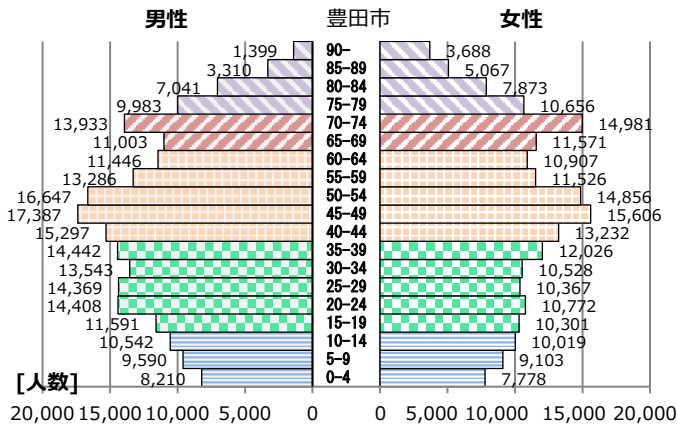


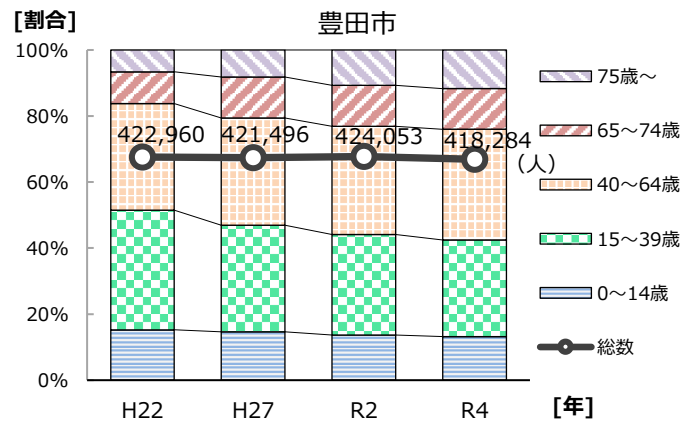
前林中学校区 地域健康カルテ (令和4年度概要版)

● 豊田市の情報 ●

①男女別年齢階級別人口 (令和4年4月1日)



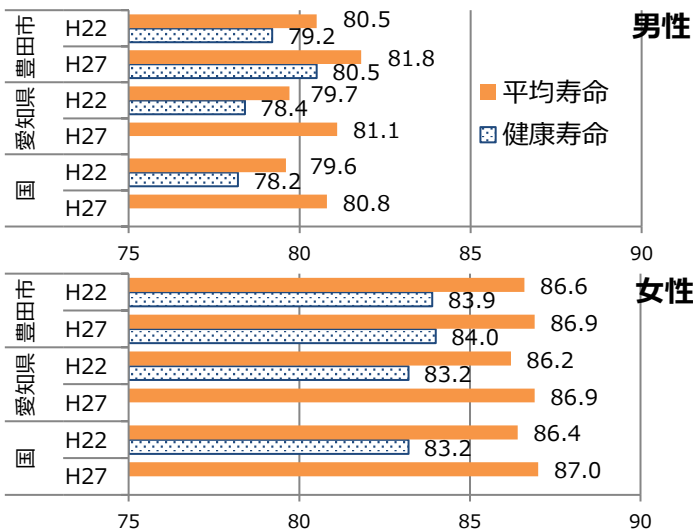
②人口推移 (各年4月1日)



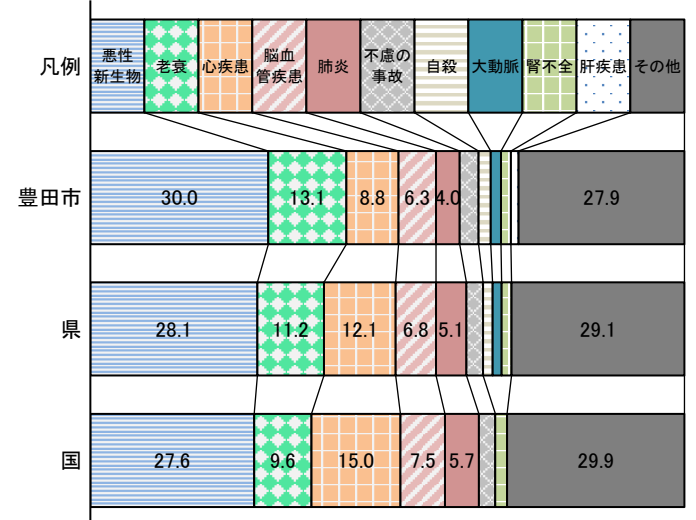
③人口構成 (令和4年4月1日)

・総人口：418,284人 (男性 217,427人、女性 200,857人) ・世帯数：183,262 ・高齢化率：24.0%
 ・要介護認定率：15.4% (令和4年10月1日) ・外国人：17,540人 (ブラジル、ベトナム、中国他)

④平均寿命と健康寿命

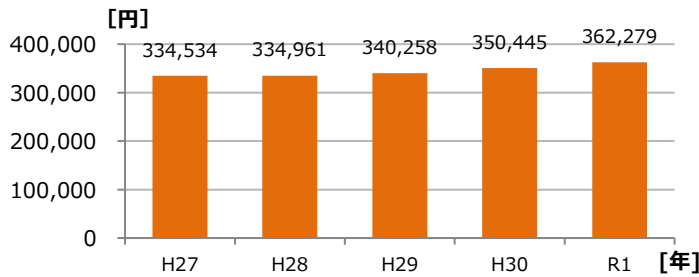


⑤主要死因別順位 (令和2年度)

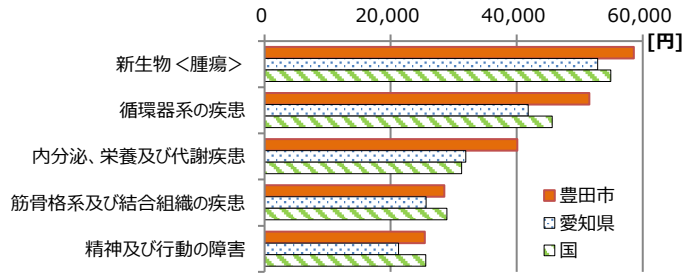


国民健康保険 医療費データ

⑥一人当たり医療費 (豊田市)

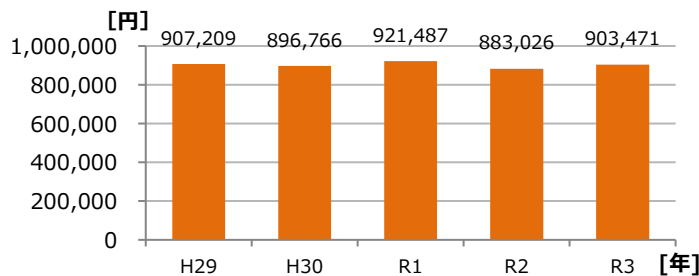


⑦一人当たり医療費疾病別上位5位 (令和3年度)

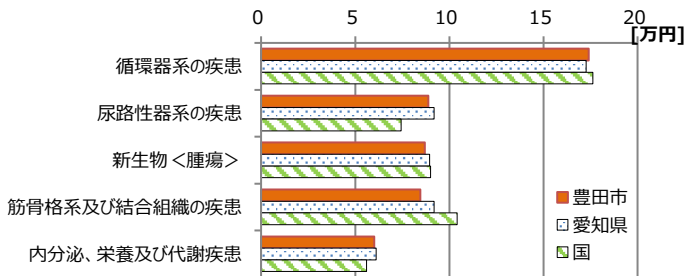


後期高齢者医療制度 医療費データ

⑧一人当たり医療費 (豊田市)

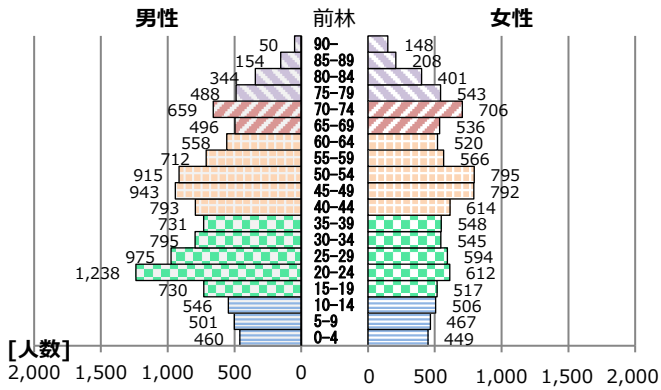


⑨一人当たり医療費疾病別上位5位 (令和3年度)

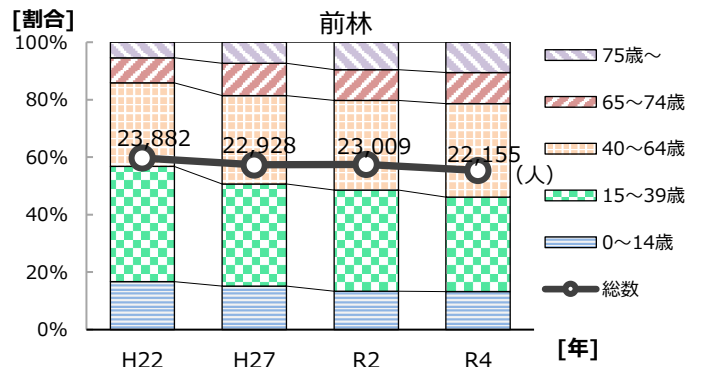


● 前林地区の情報 ●

⑩男女別年齢階級別人口 (令和4年4月1日)



⑪人口推移 (各年4月1日)



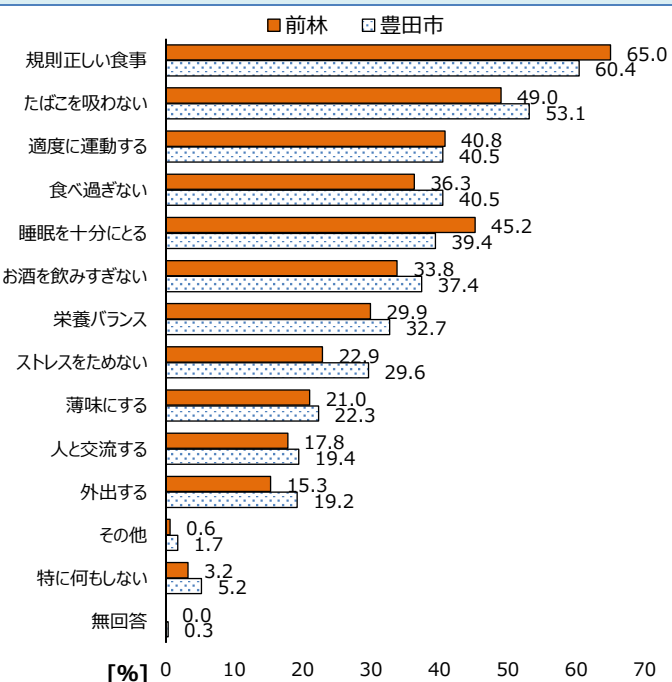
・総人口：22,155人（男性12,088人、女性10,067人） ・世帯数：9,653 ・高齢化率：21.4%
 ・要介護認定率：13.3%（令和4年10月1日） ・外国人：534人

⑫地域の組織やその活動 ※新型コロナウイルスの影響で、一部中止の事業もあります

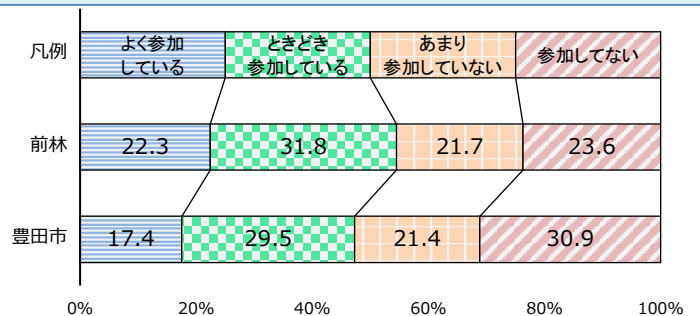
名称	内容等 (令和4年4月)
自治区数	・11自治区
地域課題解決事業	・災害に強いまちづくり事業(防災対策)、青色回転灯を使った地区防犯パトロール活動(防犯対策)
交流館	・自主グループ44グループ（うち健康・スポーツは13グループ）
ヘルスサポートリーダー	・会員数5人 ・元気アップ教室の自主支援を数多く行っている。また、交流館等で健康チェックや体力測定を実施している。
高齢者クラブ	・9クラブ
ふれあいサロン	・10サロン
元気アップ教室 自主グループ	・自治区：高岡町、前林、大島町、西岡町、本田、堤町、上丘、駒場、星ケ丘 ・その他：上丘ふれあいサロン(サロン)、駒新ふれあいサロン(サロン)、生駒ふれあいサロン(サロン)、元気アップ前林(交流館)、元気アップつつみ教室(包括)
その他	さわやかスポーツクラブまえばやし：スポーツ教室やスポーツ大会等を開催

市民意識調査(令和3年度)

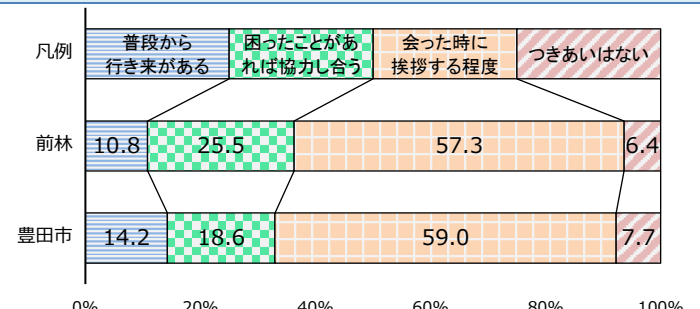
⑬健康づくりの取組内容



⑭自治区・地域活動への参加状況

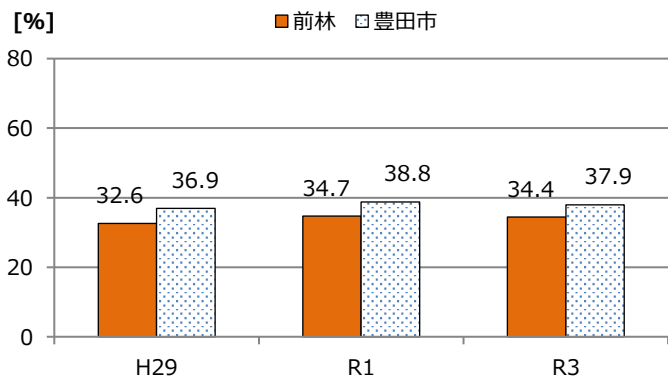


⑮実際の近所づきあい

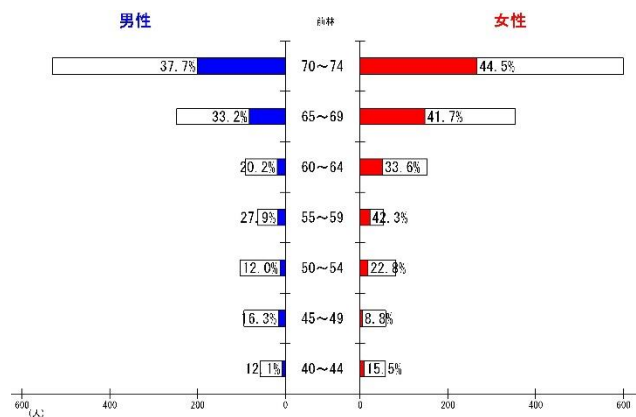


豊田市国民健康保険 特定健康診査(令和3年度)

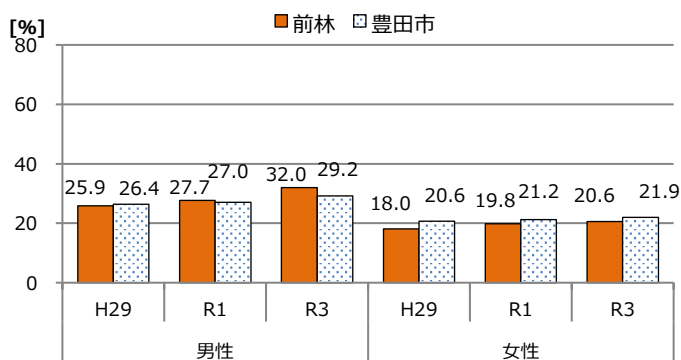
⑫ 健診受診率



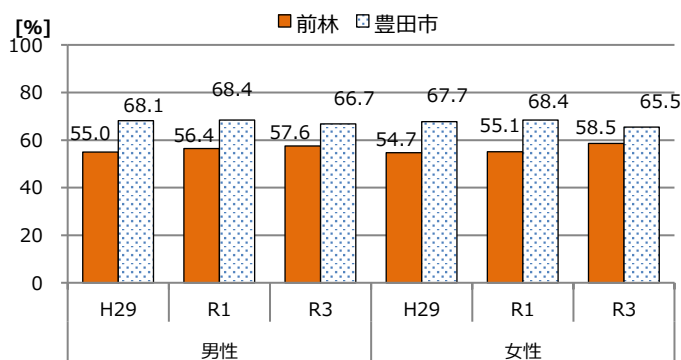
⑬ 年齢別受診者数(対象者数 2,480 人,受診者数 853 人)



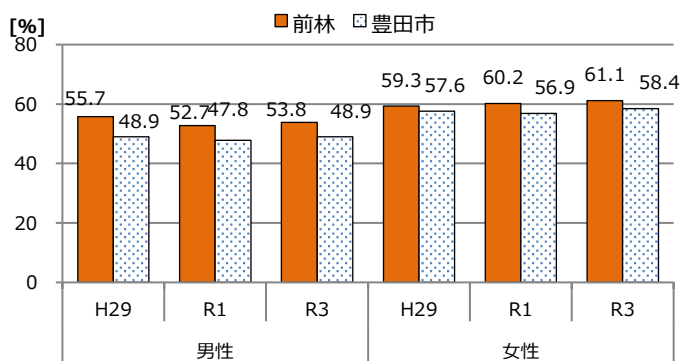
⑭ BMI (25 以上)



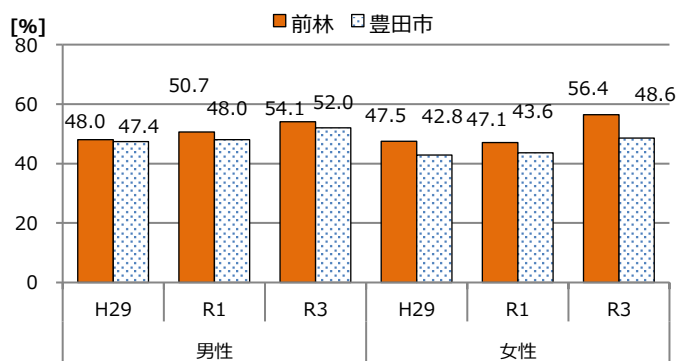
⑮ HbA1c (5.6%以上) *糖尿病の指標の検査項目



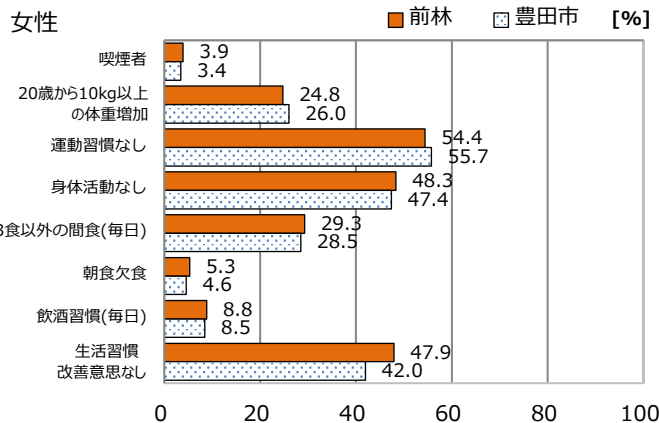
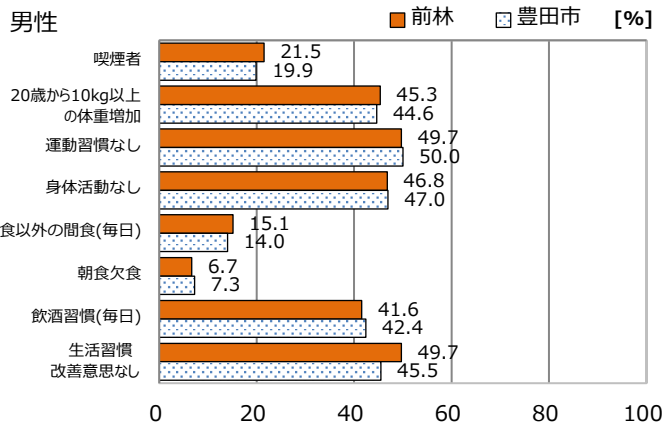
⑯ LDL コレステロール (120mg/dl 以上)



⑰ 収縮期血圧 (130mmHg 以上)



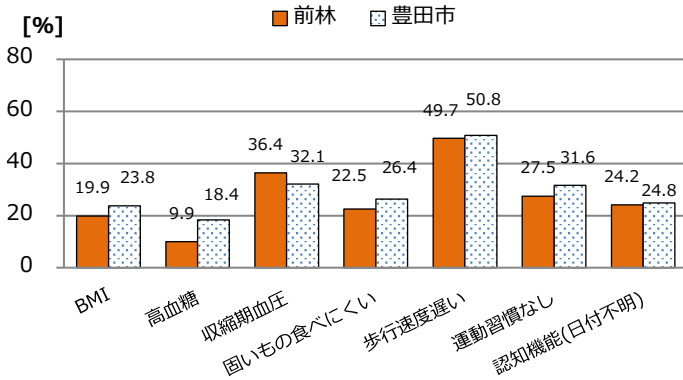
⑱ 問診



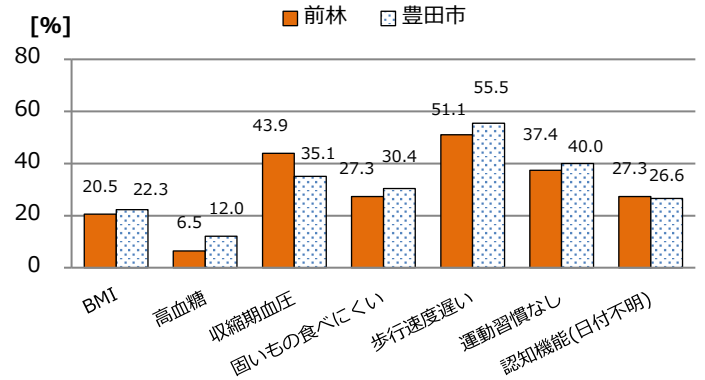
⑲ 国と比較して有意に差がある項目 [年齢調整]

国と比べ高い項目	男性	生活習慣改善意思なし
	女性	収縮期血圧、生活習慣改善意思なし
国と比べ低い項目	男性	朝食欠食
	女性	-

㉔男性



㉕女性

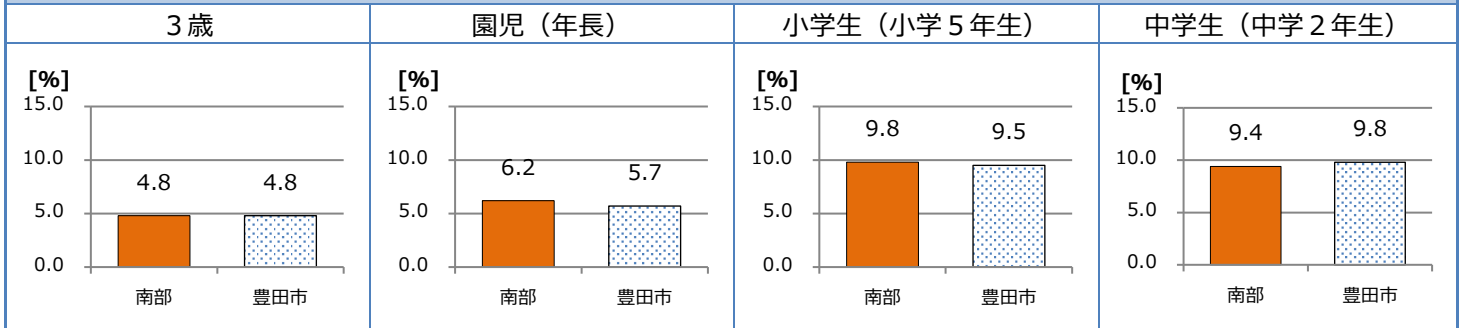


【検査項目の基準】 BMI : 25 以上 高血糖 : HbA1c 6.5%以上 収縮期血圧 : 140mmHg 以上
 【地区の受診者数】 580 人(男性 302 人、女性 278 人)

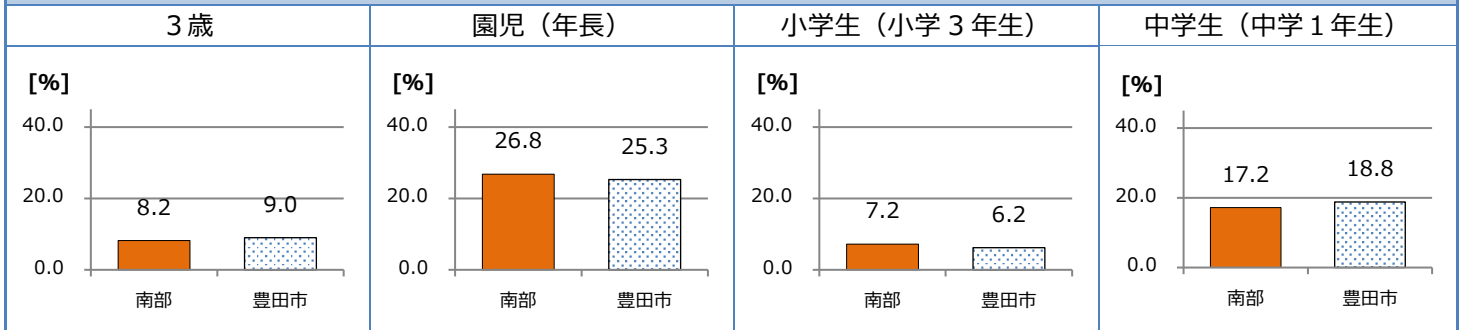
子ども 健康診査(令和3年度)

【南部】 上郷・末野原・高岡・前林・竜神・若園

㉖肥満者率



㉗う歯有者率



データから見る地区の特徴と課題

- ・国民健康保険特定健康診査受診率は経年的に市より低いため、受診率向上への取組が必要である。
- ・国民健康保険特定健康診査結果では、男女とも LDL コレステロールと収縮期血圧の該当者割合が市より高い。また、年齢調整による国との比較では、女性の収縮期血圧の該当割合と男女の「生活習慣改善意思なし」の該当者割合が有意に高いため、生活習慣病予防の啓発や健康意識を高めるような取組が必要である。
- ・高齢化率、要介護認定率とも市より低い。後期高齢者医療制度健康診査結果では、男女とも収縮期血圧の該当者割合が市より高い。一方、男女とも運動習慣なしの該当者割合が市より低く、自主グループ数も多いためグループへの参加勧奨及び生活習慣の見直しに関する取組が必要である。
- ・市民意識調査の「自治区・地域活動」への参加割合が市より高いことから、自治区の既存事業等に健康づくりの要素を取り入れ、家族ぐるみ・地域ぐるみの健康づくりを推進していくことが有効であると考えられる。